

トロシフォル®

CASE STUDY

フメックス美術館、メキシコシティ



MEXICO CITY, MEXICO

MUSEO JUMEX

フメックス美術館、メキシコシティ

メキシコのフメックス美術館に最大限の採光と安全性と保護性能を提供するトロシフォル®のセントリグラス® アイオノマー樹脂製中間膜

2016年のRIBA国際賞で最終候補に残った6点のプロジェットのひとつであるメキシコシティのフメックス美術館は、ラテンアメリカでは初めて、英国の著名な建築家サー・デイヴィッド・チッパーフィールドが設計した美術館です。この美術館は、フメックス現代美術財団の中核施設です。同財団は、現代美術の作品制作や議論をはぐくみ、情報を広めつつ、美術と文化の振興のための革新的な手法を見出すことを目指して設立されました。財団の美術コレクションである「フメックス・コレクション」と、現代美術の展示と活性化の場としてのフメックス美術館は、その目的を達成するための両輪です。

フメックス・フルーツジュース会社の資産継承者であるコレクターのエウヘニオ・ロペスが所有するこのコレクションは2900点以上の美術品からなり、ジェフ・クーンズ、オラファー・エリアソン、タシタ・ディーンといった現代美術家の作品だけでなく、メキシコの芸術家アブラハム・クルズヴィエイガスやマリオ・ガルシア・トレスの作品も含まれています。

コンクリートと地元産のトラバーチンで作られた壁を持つこの美術館は2013年の開館で、それまでコレクションが収蔵されていた施設と比べて展示スペースが2倍以上に増えています。

自然光を可能な限りたくさん取り入れたいという建築家の意向を実現するため、内部にも外側にもガラスを使ったソリューションが多く採用されています。

建物全体は14本の円柱に支えられており、そのため1階は周囲の公共広場に対して開かれた構造になっています。5階建ての美術館のうち3フロアが展示スペースです。教育や学術研究プログラム用の場所や、書店、カフェ、財団本部も入っています。

この施設のガラス工事ソリューションには、最適な光線透過率と強度と安全性を確保するために、トロシフォル®のセントリグラス®アイオノマー樹脂製中間膜が使用されました。大きなガラスパネルは10mmのアニールガラス2枚の間に1.52mm（60ミル）のセントリグラス中間膜をはさんだ構造で、なかには1.2×6.0mもの大型パネルもあります。

ガラス設置工事を担当したキネティカ社は、次のように語っています。「今回のプロジェクトで窓とドア用にセントリグラス®中間膜を選んだのには、いくつかの理由があります。まずは、安全性です。高さが最大で6mにもなる窓では、取り付け工事の際にも、美術館の来館者にとっても、万一割れた場合に安全性が保証される製品であることが肝心です。第2の条件は、見た目の美しさです。ガラスの透明度をそこなってはならなかったため、ガラスのテクスチャー、色、光線透過率に影響しない中間膜が必要でした。最後の考慮点は保護性能でした。可能な限りの透明度を実現するために、強化ガラスは使用しませんでした。つまり、展示スペースを守るための十分すぎるほどの強度を、セントリグラス®中間膜に提供してもらう必要があったのです」



設計
施工
合わせガラス製造
建物オーナー
構造工学

デイヴィッド・チップーフィールド建築事務所
キネティカ社
ミリエトガラス製造所
フメックス財団
アラップ アロンソ社

Photo: © Museo Jumex, Mexico

Photo: © Museo Jumex, Mexico



キネティカ社の話はまだ続きます。「プロジェクトの中では、建築家の設計が求める条件にマッチした特別な製品を作るサプライヤーと共同作業をする必要がありました。われわれは合わせガラス製造を担ったミリエト社およびトロシフォル®の技術専門家と密接に協力しました。彼らには、プロジェクトが必要とするガラスを作る能力と経験と設備があったからです。窓もドアも、ガラスを分割することなく建築家の設計通りに実現できましたから、われわれにとってこのプロジェクトは非常に満足のいくものでした。そうなのは、プロジェクトの過程でサプライヤーや美術館の各部門が私たちを支えてくれて、全員が一致して尽力した結果です」

フメックス美術館は、見た目の美しさと構造上の性能の両方で優れた特性をいくつも備えた先進的なセントリガラス®中間膜が使われた、素晴らしい実例のひとつです。建築家が従来のガラスソリューションの制約に縛られることなく、ずっと自由に設計を考えられるようになったことを、この建物は雄弁に物語っています。もはや、ガラスを使った構造やパネルが現代の建築・構造設計プロジェクトの弱点だとみなされることはありません。それどころか、中間膜のおかげで透明度や色や光線透過率を犠牲にせずに強度と安全性と保護性能を提供できる合わせガラスによって、今やガラスはあらゆる設計の本来的構造部分として考えることが可能になっています。

「トロシフォル®」は、建築業界で世界をリードする PVB および
アイオノマー樹脂製の合わせガラス用中間膜のブランドです。
幅広い製品の組み合わせによって、「トロシフォル®」は
最適なソリューションをご提案いたします。

- **ストラクチャー／構造用**：トロシフォル® エクストラスティッフ (ES) PVB 膜
およびセントリガラス® アイオノマー樹脂製中間膜
- **アコースティック／遮音**：トロシフォル® SC モノレイヤー
およびトロシフォル® SC マルチレイヤー
- **UVコントロール**：完全 UV 遮断タイプおよび UV 透過タイプ
- **ウルトラクリアー**：最高級の透明度
- **デコラティブ／装飾用**：不透過ブラック&ホワイト、カラー膜
および印刷対応タイプの間接膜



Photo: © Museo Jumex, Mexico



Photo: © Museo Jumex, Mexico



クラレグループの製品全般につきましては、こちらのサイトから。 www.kuraray.com.
 トロシフォル®のサイトはこちらです。 www.trosifol.com.

Kuraray America, Inc.
 PVB Division
 Wells Fargo Tower
 2200 Concord Pike, Ste. 1101
 Wilmington, DE 19803, USA
 + 1 800 635 3182

Kuraray Europe GmbH
 PVB Division
 Muelheimer Str. 26
 53840 Troisdorf
 Germany
 +49 2241 2555 220

株式会社クラレ
 PVB事業部
 東京都千代田区大手町 1-1-3
 大手センタービル
 電話：03-6701-1508

trosifol@kuraray.com
www.trosifol.com